

令和2年1月20日

八戸市議会
議長 壬 生 八十博 様

観光振興特別委員会
副委員長 豊 田 美 好

視 察 実 施 報 告 書

本委員会は、次のとおり委員を派遣し、調査視察を実施したので、平成31年度行政視察等実施要領第2（3）の規定により報告します。

- 1 日 時 令和元年11月13日（水）～11月15日（金）
- 2 場 所
 - （1） 長崎市 観光立国ショーケースについて
 - （2） NPO 法人長崎コンプラドール 長崎さるくについて
- 3 調査結果概要 別紙のとおり
- 4 派遣委員の氏名 豊 田 美 好
田名部 裕 美
上 条 幸 哉
中 村 益 則
森 園 秀 一
寺 地 則 行
壬 生 八十博

1 調査地 長崎県 長崎市

2 調査事項

- (1) 観光立国ショーケース
- (2) 長崎さるく

3 説明者

- (1) 長崎市 文化観光部 観光推進課 吉田 翔氏
- (2) 長崎コンプラドール 田中 潤介氏
長崎市議会議員 梅元 建治氏

4 視察内容

(1) 観光立国ショーケース概要

意義・目的

- ・多様な観光資源のポテンシャルを活かした世界に通用する魅力ある観光地域づくり
- ・訪日外国人旅行者を地方へ誘客するモデルケースの確立
全国に公募され、釧路市、金沢市、長崎市が選定された。
ショーケースの取組としては、日本版DMOの確立、観光資源の磨き上げ、ストレスフリーの環境整備、海外への情報発信を中心に取り組んでいる。また、観光立国ショーケースに関して、国土交通省、文化庁、経済産業省などが入った関係省庁連携支援チームが設置されており、集中的に支援をしてもらっている。
具体的には、長崎市と中央省庁とダイレクトに要望等が可能となっている。

ア 日本版DMOの確立

- (ア) これまでに実施した主な取組として、平成 28 年に携帯電話の位置情報の解析、各所でのアンケートを基に長崎市版DMOインバウンド戦略を策定した。(ビッグデータを活用したインバウンド戦略策定)、次に、ワンストップサイトの活用等による本格的マーケティング、
- (イ) 今後実施する予定の主な取組として、専門人材の確保育成ということで、マーケティングや、プロモーションの専門人材の確保、今年度、DMOのトップ(CMO)を新たに採用して、今後も進めていく予定。2つ目として広域連携、九州観光推進機構や長崎県や、県内各自治体との連携を強化して効果的にプロモーションの予定、着地型旅行商品の造成販売による手数料収入、売店収入により安定的な財源確保し自律的経営の推進を図っている、また、今後としては、宿泊税の導入について検討委員会を立ち上げ導入を目指している。

イ 観光資源の磨き上げ

- (ア) これまでに実施した主な取組として、国指定史跡「出島」の復元、100年かけて当初の出島を作りあげようという話があり、建物の復元、橋の再現をするなど整備を進めている、入場者数は年間 50 万人程度でこのうち外国人が 5 万人くらいとなっている。長崎の和華蘭文化の中で和の部分が見えづらいということもあり、出島

を整備することで、和の文化を感じ取ってもらっている。

(イ) ストーリー性のある周遊ツアー

観光庁の支援を頂いて、魅力創造事業でアンケートマーケティング外国人の特性に合わせたツアーを造成してモニターツアーを行っている、欧米豪のクルーズ乗客に向けた旅行商品の造成の働き掛けも行っている。

(ウ) 今後実施する主な取組として世界遺産の保存・活用、世界新三大夜景の魅力向上としては計画を策定し、これまで取り組んできた遠景からだけでなく中・近景の景観づくりも進めている。そのほか、長崎検番など伝統芸能を活用した体験コンテンツを企画・造成している。

そのほか、食と体験を組み合わせたコンテンツを企画造成を考えている。

ウ ストレスフリーの環境整備

(ア) これまでに実施した主な取組として九州運輸局実証事業を活用しクルーズ船の貸切りバスがどのように動き、どこで乗降しているかをGPSで調査し、効率的に回せるか検討した。

文化財における説明版等の多言語化の推進、九州運輸局の実証実験でコールセンターの実証実験を活用した医療機関における急患への対応強化、避難訓練等を実施し災害発生時の対応強化を行っている。

(イ) 今後の取組としては、民間と連携した公衆無線LAN環境の改善ということで総務省の支援を頂いて主要観光施設及び路面電車に無線LANを整備したほか、民間事業者の無線LANと連携し、アプリ等を使い、無料公衆無線LANサービスの一元化に取り組んでいる。民間と連携したキャッシュレス化の推進（経済産業省の支援を頂き決済環境を整えた）、多様なニーズに対応する地域ガイドの導入・育成、多言語対応できるガイドの育成を行っている。

エ 海外への情報発信

これまでに実施した取組は、世界遺産を活用した巡礼ツアー誘致、キリスト教の多い国を対象としたり、放送コンテンツ等を活用した情報発信、プロモーション対象市場の拡大、アジアのほか欧州、オーストラリアをターゲット市場とし、羽田・成田等の利用客を誘致を行っている。そのほか、ICTを活用したWEB発信の強化しYOUTUBEを使いながら動画を発信している。

オ そのほか、クルーズ客船の円滑な受入れを行い、消費の拡大を図っている。

カ これまでの取組の総括

課題として多くの観光施設、資源を活かされていないとの意見があるので、観光客に受入れてもらえるような取組を考えている。

今後 2 年間の柱として携帯電話による位置情報の解析、アンケート調査等のデータに基づきインターネットを通じたデジタルプロモーションと欧州・豪州からの誘客に取

り組むとともに、魅力的な体験型コンテンツの充実を図り、無料公衆無線LANの面的整備、キャッシュレス決済環境の整備を進める。

(2) 長崎さるく

ア 長崎コンプラドール

長崎コンプラドールは、長崎さるくの市民プロデューサーを中心に、まち歩き観光等による地域活性化を推進するために結成されたNPOである。

長崎県を訪れる人々に対して、長崎の豊かな歴史文化や自然を紹介するとともに、観光動向の調査研究、まち歩きや住民主体のイベント等のノウハウの提供による各地の人材育成とネットワーク化に関する事業を行い、地域の活性化に寄与することを目的としている。

イ 長崎さるくの概要

長崎市では2006年、国内初の「まち歩き」をテーマとした博覧会、「長崎さるく博'06」を開催した。「さるく」とは、長崎の方言で“ぶらぶら歩く”の意味。長崎市のまちの魅力を堪能できるよう市民と行政が一緒になって作りあげた「まち歩きコース」とそのツアーである。

5 所感

長崎市は、歴史、文化に関する観光資源も豊富にあり、国内有数の観光地である。その、多様な観光資源のポテンシャルを活かして世界に通用する魅力ある観光地づくりのため、市では、国、県からの強力な支援を基に様々な事業を進めている。一方、観光客などの多様な要望に応えるには行政だけでは限界があるため、今回視察したNPOの長崎コンプラドールが仲介役として、さるくを通じて長崎市とつなぐ役割を果たしている。

八戸市においても、朝市などを含む朝の観光、縄文遺跡、食文化、路地裏横丁、屋台など他に引けをとらない観光資源ある。今年度、VISITはちのへが設立され、新たな取組を進めているところであるが、長崎市の取組は、行政と市民団体等が連携し魅力ある観光地域づくりをしていく上で参考となるものであった。